

全法連

第39回全国青年の集い山梨大会



主催者挨拶 大貫全青連会長

法人会全国青年の集いが、令和7年11月20日(木)・21日(金)にかけてYCC県民文化ホールをメイン会場に開催されました。全国から約1,300名の青年部会員が参加し、当会からは、末竹快健青年部会長、浅田怜介副部会長、井原暢大副部会長並びに河野良太郎監事が参加しました。

大会初日は、全国各地を代表する仲間達による「租税教育プレゼンテーション」並びに「健康経営大賞」の発表が行われ、今後の青年部会活動が発展していくためのヒントを確認できる大変良い機会となりました。

大会二日目は、「会員拡大」に向けての部会長サミットや一般会員による「会員交流分科会」が開催されました。

午後からは、記念講演会、大会式典、大懇親会が開催され、これからの青年部会活動の充実に向けて貴重な情報収集と交換の場となりました。



会員交流分科会

大分県連 女性部会連絡協議会

女性フォーラム in 竹田

大分県連女性部会連絡協議会の女性の集いが、10月20日(月)、レンブラントホテル大分において、県内から県連、単位会の女性部会役員約120名が参加し開催されました。

式典では主催者及び来賓挨拶のあと、女性部会活動報告が行われ、記念講演会では、「高崎山のサル社会」と題して、大分市商工観光部大分市高崎山管理センター専門員の藤田忠盛氏による講演がありました。アトラクションでは書道家・吉野由紀氏による書道パフォーマンスや声楽家・大西貴浩氏による「日本のうた」が披露され、会場は大変穏やかな雰囲気になりました。次回開催地は、中津法人会となります。



交流昼食会

青年部会 3 単位会

(中津・宇佐高田・日田玖珠) 合同研修会



末竹会長 歓迎あいさつ

合同研修会は、本会青年部会が主管となり10月30日(木)に想夫恋本店において、開催されました。

浅田怜介副部会長の司会で開会し、末竹快健会長が歓迎のあいさつを行いました。第1部の研修会では、玖珠町立久留島武彦記念館の金成妍(キム・ソンヨン)館長が「久留島武彦に学ぶビジネスの極意」と題し講演を行いました。「みなさ〜ん」と呼びかけるキム館長の声に会場はくぎ付けとなりました。久留島武彦が遺した言葉と姿勢は、今の時代でも変わらない、これからの経営に生かしていきたいとの参加者からの声が聞かれました。

第2部の「交流会」では、宮野大樹副部会長による開会で開宴となり、各単位会が取り組んでいる活動を情報共有し今後の単位会活動に活かしていくための大変良い機会となりました。

ごあいさつ

日田税務署長
宮崎 勝教

明けましておめでとうございます。
昨年7月に熊本県の人吉税務署長から日田税務署長を拝命しました宮崎でございます。

大分県内の勤務は、平成23年に臼杵署で勤務して以来、二度目となります。夏の猛暑の中での着任となりましたが、いつの間にか厳しい寒さを体感しており、時の経過の速さを感じているところです。その間、管内様々な場所へ出向く機会をいただき、ここ日田・玖珠・九重の歴史の深さと美しい景色に触れることができ、大変うれしく思っています。次の異動までの間も、様々なイベントや歴史・文化に触れ、更に管内の魅力を堪能したいと思っています。

令和8年の新春を迎えるに当たり、公益社団法人日田玖珠法人会の皆様方に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

日田玖珠法人会並びに会員の皆様には、日ごろから税務行政全般にわたりまして、深いご理解と多大なご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、昨年、日田税務署長納税表彰を受けられた皆様に対しまして、心からお祝い申し上げます。

さて、日田玖珠法人会におかれましては、「税のオペニオンリーダー」として、租税教室への講師派遣や税に関する絵はがきコンクールなどの「租税教育活動」のほか、「地域社会への貢献活動」などに創意工夫をされ積極的に取り組まれており、社会的にも高い評価を受けておられます。

これもひとえに、江藤会長をはじめとする役員並びに会員の皆様のご尽力の賜物であり、そのためまぬご努力に対しまして深く敬意を表する次第でございます。

ところで、近年の経済社会のグローバル化・デジタル化をはじめとした、税務行政を取り巻く環境の急速な変化の中で、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という国税庁の使命を果たすためには、税務行政に対する納税者の皆様の理解と信頼を得ることが何よりも重要であると考えております。

そこで、時代の変化に即した税務行政を実現するため、国税庁におきましては、デジタル化を活用した国税に関する手続、業務の在り方の抜本的な見直し及び事業者のデジタル化促進に取り組み、「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」の実現を目指しております。

法人会の皆様には、これまで、e-Tax、キャッシュレス納付の利用拡大、年末調

整手続の電子化、電子納税証明書の周知・広報などにご協力いただいておりますが、さらなるデジタル化促進に取り組むためには、これまで以上に法人会の皆様との連携・協力が必要と考えておりますので、今後とも、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、間もなく令和7年分の確定申告の時期を迎えます。

国税庁では、マイナンバーカードを利用した、スマホ等による自宅等からのe-Taxでの申告を推進しております。

マイナンバーカードをご利用いただく、マイナポータルと連携することで「医療費」や「ふるさと納税」のほか、「生命・損害保険料」や「給与所得の源泉徴収票」も自動入力の対象となります。

この「給与所得の源泉徴収票」の自動入力のためには、事業主の皆様が「給与所得の源泉徴収票」をe-Taxで税務署に提出いただくことが必要となります。

法人会の皆様におかれましては、従業員の皆様の確定申告に係る利便性向上のため、「給与所得の源泉徴収票」のe-Tax提出について、是非、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、この新しい年が日田玖珠法人会の益々のご発展と、会員の皆様方のご繁栄の年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

日田税務署
人事異動のお知らせ

(令和7年7月10日付)

職名	前任者（異動先）			後任者（前任地）		
	氏名	部署	役職	氏名	部署	役職
税務署長	松井 宏樹	熊本国税局 会計課	会計課長	宮崎 勝教	人吉税務署	署長
総務課長	益永 寿美	大分税務署	総務課長	楠野 明彦	宇佐税務署	総務課長
管理運営・徴収部門 統括国税徴収官	藤野 智	熊本東税務署 管理運営部門	統括国税徴収官	—	—	—
個人課税第1部門 統括国税調査官	清水多美子	山鹿税務署	総務課長	山口 順一	熊本国税局 情報システム課	主任税務 分析専門官
個人課税第2部門 統括国税調査官	児玉 豪史	三重税務署 調査部門	統括国税調査官	徳留 義嗣	鹿児島税務署 特別国税調査官	連絡調整官
法人課税部門 統括国税調査官	瀬口 淳子	(留任)	(留任)	瀬口 淳子	(留任)	(留任)
総務係長	尾野 泰洋	(留任)	(留任)	尾野 泰洋	(留任)	(留任)

e-Tax
を使った

キャッシュレス納付



はじめての一步を体験しよう!



令和7年3月に「源泉所得税のキャッシュレス納付体験コーナー」を開設しました。

実際の画面（e-Tax）を使って、一連の流れを体験できます。

※体験コーナーから、実際にe-Taxによる送信や納付が行われることはありません。

体験できること

- ✓ 徴収高計算書の作成
- ✓ ダイレクト納付（自動ダイレクトを含む。）
- ✓ インターネットバンキングによる納付

パソコン操作や e-Tax に不安のある方に
特におすすめです!!

簡単を体験!!

「源泉所得税のキャッシュレス
納付体験コーナー」で検索



スマホでもできるよ!

「自動ダイレクト」とは?

申告書等データの送信とあわせて納付データを送信することができる機能。

手続はチェックボックスに ☒ を入れるだけですとても簡単。

実際の申告書等データの画面

自動ダイレクト

本申告は自動ダイレクトの対象です。自動ダイレクトとは?

災害等により法定納期限が延長されている方は、口座引落日等についてこちらを必ずご確認ください。

ここにチェックを
入れるだけ



- ☒ 私(当社)は、申告した納税額について、自動ダイレクトを利用し、
下記の口座からの引落しにより納付します

1	利用者識別番号	123412341234
	引落日	〇年〇月〇日
	納付金額	1,000円
	引落口座	〇〇銀行△△支店 普通預金 1234567

税の作文の入賞作品 中学生の「税についての作文」

賞名	氏名	学校名	学年	題名
大分県知事賞	ふくい の あき 福井 希彩	日田市立大山中学校	3年	「当たり前」は当たり前か
日田税務署 署長賞	いのうえ りょうが 井上 竜雅	日田市立東有田中学校	3年	私たちの生活と税金
	きむら 結 季	九重町立ここのえ緑陽中学校	3年	「公平」な税金とは
日田玖珠納税貯蓄組合連合会 会長賞	うめむら ゆうな 梅村 優奈	日田市立大山中学校	3年	将来のために
	たけいし まわた 真綿	九重町立ここのえ緑陽中学校	3年	温泉と税金
日田玖珠地区租税教育推進協議会 会長賞	なかやま そうた 中山 颯太	日田市立東部中学校	3年	身近な税金
	お だ こうだい 小田 煌大	日田市立東溪中学校	3年	私たちと関税の関わり
日田玖珠地区税務連絡協議会 会長賞	なかやま ようすけ 中山 陽介	日田市立三隈中学校	3年	税金について考えること
	ひやかわ み 都 悠	日田市立戸山中学校	3年	世界と日本の税金を調べて
	いのうえ 井上 颯介	日田市立大明中学校	3年	生きていく上で大切な税

作文の応募校数及び応募編数

第59回 中学生の「税についての作文」

本年度も日田玖珠管内では、中学校8校、192編とたくさんのお応募がありました。

大分県知事賞

『当たり前』は当たり前か

日田市立大山中学校

三年 福井 希彩

私が中学一年生になった二〇二三年の夏、台風二号が起き、私達が暮らす大分県や隣の福岡県などでは大きな被害を受けた。学校が休校になったり、友達の家では雨漏りになったりするほどだった。私の住んでいる家は特に被害はなかったが、住んでいる地域にある沈み橋は被害にあった。

この沈み橋は一年に一、二回ほどだが、台風から起こる洪水により橋が沈む。橋を過ぎた後にあるバス停まで、歩けば五分ほどで着くものの、橋が沈めば遠回りをする必要がある、不安定な道を車で十五分ほど進まないで着くことができない。台風が去って川の水も落ち着いた頃、橋を見に行くと、橋のアスファルトの広範囲が剥げ

ていたり、橋に長い流木がかかったりしていた。

それからすぐはその道を歩いて通学していたが、アスファルトは恐らく交通量の少ない昼間に一ヶ月ほどで整備されていて、流木は一週間もしないうちに撤去されていた。

当時は、「割と早く直されているな」ぐらいでしか考えていなかった。「税の作文」という課題が出て、小学校の頃に受けた租税教室を思い出した。その授業を通して、税金は公園や道路などの整備、校舎や教科書などの学校で使われるものといった、私達が毎日を快適に過ごすために無くてはならないものだ」と学んだ。

そして今、当時の流木の撤去や橋の整備も税金によって行われていたということに気が付いた。さらに調べてみると、通学に必要なスクールバスも税金と関わっているということを知ることができた。

私にとって地域にある沈み橋は、外出する際に無くてはならないものだ。学校に行くにも、整備された道やスクールバス、信号機が無いと、生徒児童は安全に学校へ来れない。でも、身近にあり過ぎて当たり前だと思っていた私がい

た。当たり前だと思っていたものは税金によってできているということとを理解して、悪いイメージだった「消費税」などという言葉も受け入れられるようになった。

第64回「税に関する高校生の作文」

国税庁では、毎年、全国の高等学校のご協力を得て「税に関する高校生の作文」の募集を行っています。

本年度も、日田玖珠管内では、高等学校6校、433編とたくさんのお応募がありました。

税の作文の入賞作品

「税に関する高校生の作文」

賞名	氏名	学校名	学年	題名
熊本国税局 局長賞	せと ゆうた 瀬戸 悠太	大分県立玖珠美山高等学校	2年	見えない橋
日田税務署 署長賞	もりやま の か 森山心乃華	大分県立日田高等学校	2年	「取られる」税ではなくて
	あかみね 赤峰こころ	大分県立玖珠美山高等学校	2年	減税するために私たちができること
日田玖珠地区 租税教育推進協議会 会長賞	う の わかな 宇野 和奏	大分県立日田高等学校	2年	税金と選挙
	にのみや ゆう 二宮 悠羽	大分県立日田高等学校	2年	消費税減税は幸福につながるのか
	きのした 木下 椎奈	藤蔭高等学校	3年	税の必要性
日田玖珠地区 税務連絡協議会 会長賞	こさい しょうへい 小才 祥平	昭和学園高等学校	3年	医療にたずさわる、そして税を使う者として
	くどう はなえ 工藤 華恵	昭和学園高等学校	3年	私たちの未来を支える税金の力
	からき しい 唐木 詩依	大分県立日田林工高等学校	2年	未来への援助
日田間税会 会長賞	たかまつ み ゆ 高松 美優	大分県立日田三隈高等学校	3年	税と私たちの暮らし